

2024年度

施設番号	66-0336
施設名	昭栄保育園
施設 所在地	昭島市拝島町 3-17-11
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1, 活動のテーマ

【テーマ】砂山遊び

大量の砂から、子どもが遊びを発見する

【テーマ設定理由】

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
砂場に砂を足したところ、量が多すぎて砂場からあふれてしまいました。そこへ子ども達が集まってきて、様々な遊びに発展していきました。

2, 活動スケジュール

2024.11. 8 (金)	砂場に砂を入れる (2 m ³)
2024.11. 11 (月)	大量の砂を子どもが見つける 砂をあちこちに運びながら遊ぶ
2024. 11.12 (火)	大きな砂山を作る 砂山滑りで遊ぶ
2024. 11.13 (水)	～砂山で遊ぶ

3, 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

段ボール、ビニールシート、砂場道具、スコップ、一輪車

子どもが自由な発想で遊べるように、道具を準備設定した。

4, 探究活動の実践

〈活動の内容〉

大量の砂をみつけ、子どもは感嘆の声を上げていたが、すぐに砂を崩しては運んだり、高さを作ったりして山にするなど砂の形を変える遊びを始めた。砂をまいて園庭整備をしていた職員について、一輪車で砂を運んでまいては固める道路工事ごっこも始まる。何人かで砂場の中心に高い山を作ると、斜面を駆け下りたりする児が現れ、お尻で滑ろうとする児もいた。職員が段ボールを出すと、土手滑りを思い出してお尻に敷いて滑ろうと試みていた。幼児は、ビニールシートも使うなど、遊びに工夫を加えていた。砂山はあちこちに運ばれたり崩されたりして数日間子ども達でにぎわっていた。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり等〉

(活動の内容、活動中に見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・ 大量の砂を目の当たりにして、驚きと喜びの表情を見せる。
- ・ 園庭を整備する職員の真似をして遊んでいる
- ・ 子どもと保育者と一緒に大きな砂山を作る
- ・ 「滑れるかな〜？」と子どもの声
- ・ 保育者が、段ボール、ビニールシートなどを提供する
- ・ 子どもは座ったり、寝転がったり、立ってサーフィンのようにしたりして滑ろうと工夫する

※活動の様子がわかる写真 2枚以上を貼付（ホームページで公開します）

5. 振り返り

振り返りによって得た先生の気づき〉

砂が大量にあるだけで、子どもの遊びが始まる。玩具や遊具を使わずとも、自身で、素材を使って遊びを作り上げていることに感心した。様々な年齢の子ども達がそれぞれの使い方で砂を遊びに取り入れていた。自然物で遊ぶことが、子どもの能力を引き出すと発見した。

砂山遊び



園庭の砂場の砂を増やしてみました✨そしたら多すぎて溢れてしまいました。



「この砂さ。多すぎる方ちょっとちょうだい」とプレイハウスの隅に秘密基地ができました。



覗くと、自分の体が入るくらいの穴を3人で掘って、「お風呂作ってるの」と✨



別の子は、段ボールを持ってきて、平らにならしています。「何するの?」と尋ねると、「考え中。」と。



その横で、ダンボールで砂山から滑る遊びが始まりました。



一生懸命園庭に砂をまいて、園庭を整備する大人の手伝いをする子も出てきました。





山を切り崩しては、園庭に運びます。



コンピカーを「トラック」とよび、運送業者さんも活動を始めました。車の車輪で圧をかけ、丁寧に園庭をならします。



まだまだ大きい砂山です。よじ登っては、転がり落ちて楽しむ子もいます。



ダンボール滑りが2歳さんに人気となります。



ダンボールが動いてしまうので、大人が抑えています。



横では、山を崩そうと一生懸命掘っている子もいます。



やっと頂上に登った0歳児さん。滑ることはできませんでした。怖くて。



そこへ、園外散歩から帰ってきた幼児クラスのお友達。一気に砂山へ駆け上がります。



2歳児さんが残した段ボールをちぎったりしながら、砂山滑りが豪快にスタートしました。



ですがダンボールがなかなか滑りが悪く、どうしたら良く滑るのかを考え始めました。



ビニールを持ってきました。



しかし、ビニールもあまり滑りません。。



誰がやってもあまり滑りません。



横になって滑ってみました。ん〜。。あまり滑りは変わらないようです。



立って滑ってみたところ、1番滑りが良かったようです。



サーファーのように🏄。波ではなく、ダンボールで砂の凸凹を足裏でかんじながら。。



正座は予想通り滑りませんでした。



当然転びます。。痛くはないようで、何回も挑戦!!



繰り返すたびに上手に滑れる回数が増えていきました。



パドリングまで始まり、本格的なサーファーが登場です。



熱中して、立ち滑りをあみ出した2人に年長さんが加わり、芝滑りスタイルに挑戦が切り替わりました。

職員

2024年11月13日（水）



シンプルイズベスト。1番滑るようです。



なーんだ、これで良かったかも。。でも色々考えて
やってみて楽しかったな～